

国の6つの指標によるステージ分類と県のリスクレベル

【国ステージ分類指標】

	医療提供等の負荷 (判断日の状況)		監視体制	感染の状況 (直近1週間の状況)			
	①病床のひっ迫具合		③PCR 陽性率 (一週間平均値)	④直近1週間の 陽性者数 (熊本県人口で換算)	⑤前週との 比較	⑥感染経路 不明割合	
	病床全体	うち重症者用					
ステージ4	50%	50%	437人 (25人/人口10万人)	10%	437人 (25人/人口10万人)	先週より増	50%
ステージ3	25%	25%	262人 (15人/人口10万人)	10%	262人 (15人/人口10万人)	先週より増	50%

12月13日の 本県の状況	30.8%	13.6%	178人	10.4%	155人	+77	22.6%
------------------	-------	-------	------	-------	------	-----	-------

【県リスクレベル基準】

リスク レベル	県の判断基準
レベル5 厳戒警報	①新規感染者 150名以上 かつ ②病床使用率 25%以上 等
レベル4 特別警報	①新規感染者 50名以上 かつ ②リンク無し感染者 25名以上
レベル3 警報	①新規感染者 30名以上 又は ②リンク無し感染者 15名以上
レベル2 警戒	①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない

新型コロナウイルス感染症「リスクレベル5 厳戒警報」における緊急対策

対策の基本方針

- I 有症状者や感染が疑われる者に対する診療や検査を、積極的かつ迅速に実施できる体制を整備。
- II クラスターの未然防止や早期収束に対応できる体制を整備。
- III ハイリスク者の入院等に確実に対応できる万全な医療提供体制を整備。

県内の感染状況

12月8日から13日までの6日間の状況
新規感染者数：155名、病床使用率：30.8%



感染者数及び病床使用率が増加し、リスクレベル5の水準に到達

国のステージⅢには該当しないが、感染拡大の主な原因に対する対策の強化が必要。

- 熊本市中心部の接待を伴う飲食店において、多数の感染者が確認されている。
- また、病床使用率も急増している。

緊急対策の方向性

- 接待を伴う飲食店における感染拡大防止対策を強化。
- 高齢者や基礎疾患を有する方などに、確実に入院していただくための体制の強化。

県民への要請について

「飲食店等、営業施設の利用」に関する要請を以下のとおり強化。

レベル4

感染防止対策のできていない店舗については、利用を控えて下さい。

レベル5

感染防止対策が講じられていないホストクラブやキャバクラなどの接待を伴う飲食店は利用しないでください。

また、その他の飲食店等についても、感染防止対策が講じられていない場合は利用を控えて下さい。

医療提供体制について

入院・療養体制を以下のとおり強化。

12/13時点の
病床使用状況

県全体の病床使用率：30.8%
うち、熊本市内の病床使用率：76.0%

入院体制

- ・高齢者や基礎疾患を有する方などの入院に万全に対応するため、県調整本部による県内全域での広域入院調整を確実に実施。
- ・現在確保している入院病床400床について、全ての病床をすぐに患者を受け入れることができる「即応病床」へ近日中に移行するよう医療機関へ要請（現在の即応病床は260床）。
- ・併せて、入院病床400床の更なる増加に向け、医療機関と調整。

療養体制

- ・軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の2棟目について、本日、借上契約を締結。
- ・近日中の稼働に向け、早急に体制を整備。

1棟目：約60名＋2棟目：約80名
＝合計：約140名の受入れが可能

更なる対策については、全国や県内の感染状況等を踏まえ、12月18日に発表予定